



ハサヌディン大学において国際パートナーシップ教育プログラム ならびに理工学部の学生国際交流組織「STEPs」の研修を開催

【概要】

2024 年 9 月 16 日(月)～20 日(金)の間、インドネシア・ハサヌディン大学工学部と共同で国際パートナーシップ教育プログラムを開催し、理工学部都市工学分野の学生と理工学部の学生国際交流組織「STEPs」の学生が参加しました。

【本文】

2024 年 9 月 16 日(月)から 20 日(金)にかけて、インドネシア・南スラウェシ州マカッサル市にあるハサヌディン大学にて、同大学工学部と佐賀大学理工学部との共同で国際パートナーシップ教育プログラムを開催しました。本プログラムでは、都市工学部門の押川 英夫教授、三島 悠一郎 講師の引率により、理工学部都市工学分野の学生 5 名と、理工学部の学部長表彰受賞者で構成される国際交流組織「STEPs」のメンバー 4 名が、海外研修の一環として参加し、様々な活動を行いました。

ハサヌディン大学工学部とは、本学が実施する戦略的パートナーシップ・プロジェクトの連携校として、コロナ禍以降から交流を深化させ、効果的な国際教育プログラム設立のための活動を行っています。

本プログラムはその国際教育の第一段階として位置付けられており、ハサヌディン大学を訪問し、現場見学や研究ワークショップ、研究室訪問、グループワーク、プレゼンテーションなどを実施しました。学生たちは各コンテンツにおいて、ハサヌディン大学の学生や教員と積極的にコミュニケーションを取りながら情報収集を行い、課題の整理や解決策の提示に向けたグループディスカッションに取り組みました。さらに、「STEPs」のメンバーは、ハサヌディン大学から本学理工学部の博士前期課程や博士後期課程への留学に繋がるよう、理工学部と佐賀県の魅力を紹介しました。

5 日間という短期間での開催でしたが、参加した学生は英語でのコミュニケーションを実践し、異文化や社会的課題の違いと共通点を体験することで、国際人材として必要な素養を深める貴重な機会を得ました。

ハサヌディン大学とは、今後も本学で国際セミナーの開催が予定されています。参加学生だけでなく、他の学生にも継続的に国際交流の機会を提供し、留学などへの興味・関心が高まることが期待されます。

末筆ながら、現場見学では株式会社オリエンタルコンサルタンツの関係各位に多大なご協力を賜りました。心より御礼申し上げます。



ワークショップ後の記念写真



Pamukkulu ダムサイトにて